SCS（関中コミュニティスクール）のローガン
「しあわせ関中計画」

☆11月7日に第3回CS会議が開催されました☆

今回の協議事項

- ・7月～11月の生徒のようす ・職場体験学習について
- ・避難所開設訓練の成果と課題について
- ・自転車通学(坂下地区)について
- ・不登校対応について

第3回 会議の様子

職場体験学習

2年生が、9月18日～20日に職場体験学習を行いました。緊張した姿が見られましたが、一生懸命取り組んでいました。25事業所様のご協力により貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

地域の方との避難所開設訓練

7月11日に事前の防災学習として、関宿まちづくり協議会事務局長兼指定避難所代表の南隆男さんから「関中学校が避難所になったら中学生はどのように行動するのか」についてご講演をいただきました。9月4日には、地域の方々にもご参加いただき合同の避難所開設訓練を行いました。生徒たちは、避難された方々の誘導係、施設安全点検係など8つの係に分かれて参加しました。大地震が発生したという訓練の中で生徒たちは、上級生が自ら考えて行動する姿に感心したり、自分には何ができるだろうかと考えるきっかけになったりしていました。また、災害時のラップや新聞紙の活用法やエコノミー症候群防止の体操等も教えていただきました。

今回の避難所開設訓練をふり返り、学校運営協議会委員の方々との意見交流を行い、成果と今後の課題について話し合いました。

【成果】

- ・今年は全生徒に役割があり、自分事として捉えることができていた。また、自分事として捉えられたことで、来年はこんなことがしたいという意欲が見られた。
- ・実体験を通して災害時のイメージができ、防災意識の向上が高まり、地域連携の強化にもつながった。
- ・生徒たちの、もっと自分に何ができるだろうかと積極的に行動する姿に感動した。人のために何かをしようとする気持ちが、普段の日常生活にもつながっていくのではないか。

- ・生徒たちの疑似体験があつてこそ、災害時に行動できると思う。
中学生はパワーや集中があり、やるのが早い。万が一の時に、協力してもらえ地域の大切な人材である。

【課題】

- ・当日の流れを把握していても、実際に行動すると指示をしてもらわないと分からないことが多かった。今後マニュアルが必要になるのではないかな。
- ・災害時は一人一人がどうなるのか分からないため、避難所の設営をするための流れを地域の皆さんに分かっていただきたい。
- ・避難所生活が長期間になると、そこで新しいコミュニティを作って生活していかななくてはならない。今の実行委員会のメンバーは男性ばかりなので、その時に、女性目線で生活するうえで何が必要であるのかという発想や訓練が必要になってくるのではないかな。

今回実施した避難所開設訓練の成果や課題を生かし、今後も有事に備え取り組んでいきたいと思ひます。ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

🚲 自転車通学（坂下地区）について 🚲

数年ぶりに坂下地区から数名の生徒が入学し、学校生活を送っています。坂下地区は自転車通学が許可されていない地区で、(市瀬までは自転車通学範囲)学校生活を送る中で、下校時間に応じた通学に使用できるバス(福祉バスなど)がなく、学校で長時間バスを待ったり、部活動は保護者の送迎がないと参加できなかったりする状況です。そこで、坂下地区の保護者の方から自転車通学の許可をしていただきたいという要望があり、学校運営協議会委員の方々と安全面などについて協議をし、承認されました。

今後は、自治会長さんの了解を得て、教育委員会に承認願を提出する予定です。

📺 不登校対応について 📺

今回の話し合いでは、校長先生より現在、小中学生の不登校が過去最多であり、三重県では学びの多様化として来年4月に開校する、みえ四葉ヶ咲中学校のことや、文部科学省からオンライン授業やフリースクールについて積極的に評価していく方針であること等の現状報告がありました。その後、10月30日に行われた教育懇談会(助産師 林みち子さん)で、「生きているだけで100点満点!」という言葉に感動して涙が止まらなかったという生徒の感想が紹介されました。委員の方々と意見交流する中で、人と比べない、毎日元気に生きること、自分のことが好きであることがとても大切であることを共有しました。

今後も話し合いを重ね、生徒たちにとって何が幸せなのかを考えていきたいと思ひます。

今後の学校運営協議会の予定

2025年2月13日(木)
第4回会議 役員会

関中ホームページにて
普段の関中学校の様子がご覧いただけます
<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/sekichu//>

関中学校ホームページ